凡例

I. 編集方針

1. 本用語集に掲載する用語の対象範囲は鍼灸学の領域を主体とした。鍼灸学と関連のある、比較的多用される周辺領域の用語も対象に加えた。
2. 一つの事項に対し、従来複数の日本語が用いられていたものは、各々用語を検索できるようにし、可能な範囲で整理し、単一化した。
3. すでに長く使用されてきた日本語用語の中には、当初の誤解などに基づく、不適正なものもある。鍼灸学固有の用語は日本の鍼灸学会用語委員会で修正されない限り変更されないとの観点から、多少の混乱を考慮しながらも、改変に踏み切ったものがある。
4. 日本語用語の選定に当たり、内容的確さと日本語としての表現を十分考慮した。
5. 本用語集には、現時点における日本の鍼灸学で汎用性のある用語を掲載した。日本の鍼灸学会機関誌等の論文記述に際して十分参照されることが望まれる。

II. 採用基準と収録語数

1. 採用基準

標準的な鍼灸学用語を採用

2. 収集・抽出方法収集書籍

1) (公社) 東洋療法学校協会編教科書

- (1) 医療概論 第1版第22刷
- (2) 衛生学・公衆衛生学第2版第14刷
- (3) 関係法規第7版第7刷
- (4) 解剖学第2版第11刷
- (5) 生理学第3版第1刷
- (6) 病理学第2版第5刷
- (7) 臨床医学総論第2版第9刷
- (8) 臨床医学各論第2版第14刷
- (9) リハビリテーション医学第4版第3刷
- (10) 東洋医学概論 第1版16刷
- (11) 東洋医学臨床論〈はりきゅう編〉 第1版28刷
- (12) 新版 東洋医学概論 第1版6刷
- (13) 新版 経絡経穴概論 第2版9刷
- (14) はりきゅう理論 第3版
- (15) はりきゅう実技〈基礎編〉 第2版7刷
- (16) 社会あはき学 第2版8刷

2) (公社) 東洋療法研修試験財団

あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師国家試験出題基準 2020 年版

3. 収録語数

8652 語

III. 表記方法

1. 見出し語

語彙の基本語または代表語

2. 読み

ひらがな

3. 類似語

基本語以外

IV. 表記の詳細

1. 利用者が鍼灸用語を検索しやすいように、「ひらかな」と「漢字」いずれでも検索できるようにした。
2. 同音異字語の場合は並列併記した（例；あいき；曖気、噫気）。
3. 明らかに同義語の場合は、一つにまとめた（例；疝虫、疝の虫）。
4. 異字同意語が区別できるように併記した（例 1；横刺、水平刺、地平刺、例 2；艾条灸、棒灸）。
5. 用語は名詞を採用した。
6. 誤解される可能性のある用語には註釈や解説を補足した。
7. 語彙の収集における除外項目について
 - 1) 日本医学会用語辞書に掲載されているものは除外した。
 - 2) 人物名や書籍名は除外した。
 - 3) 収集書籍からの索引用語から文章的表现は除外した。
 - 4) 欧文や略語は除外した。
 - 5) 形容詞や動詞は除外した。